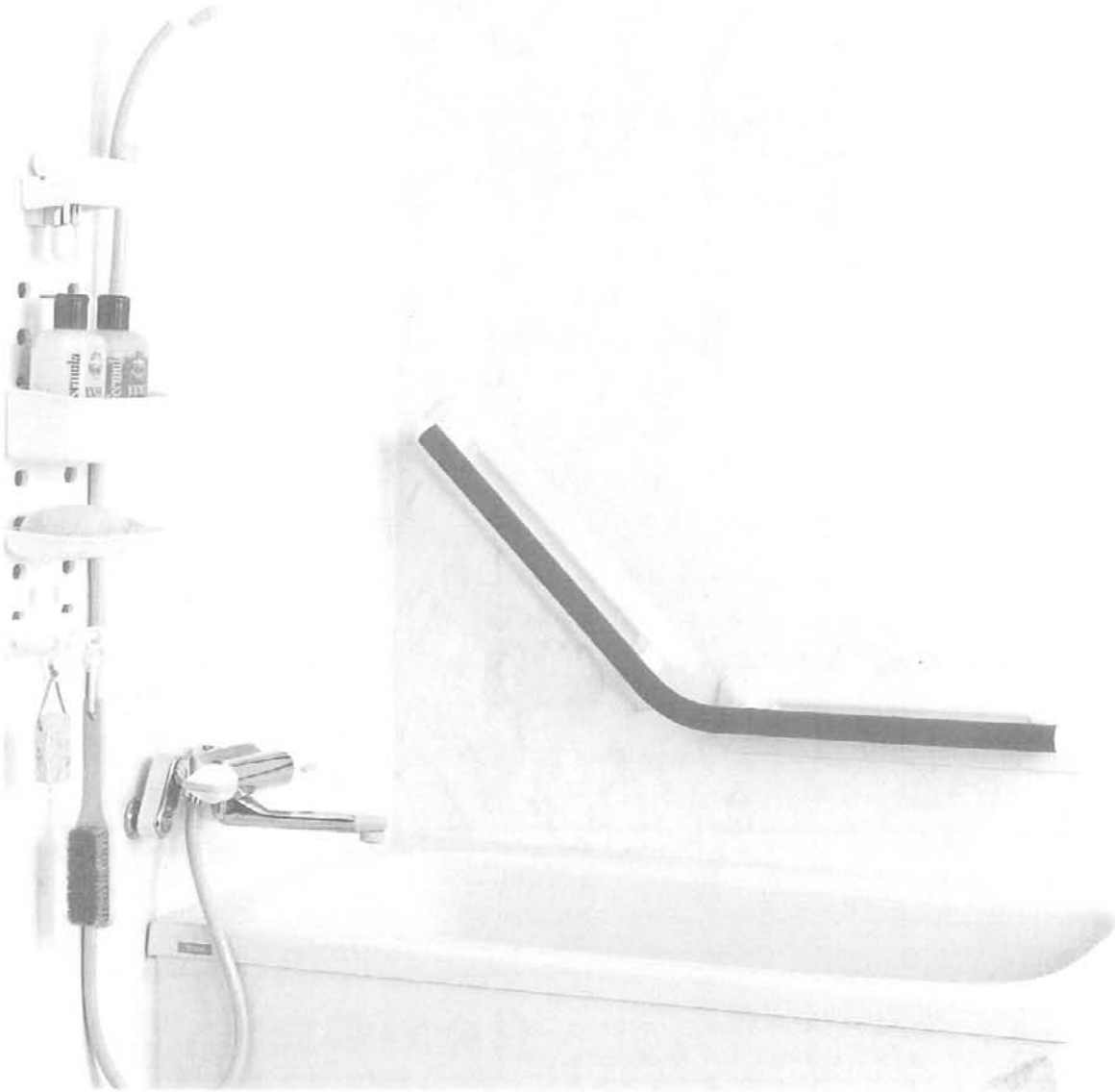
ユニットバス用手すり

UB-400・UB-600
UB-L　・UB-L45

取扱説明書

このたびはユニットバス用手すりをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。



ARONKASEI CO., LTD.

目　次

ご使用の前に ―― 1
製品概要 ―― 1
（1）各部の名称
（2）主な特長
（3）材質・仕様
（4）組立図
使用上のご注意 ―― 4
お手入れの方法 ―― 4
施工要領
壁パネルの条件 ―― 6
（1）取り付け可能な壁パネル
（2）取り付け不可能な壁パネル
取り付けの前に ―― 8
取り付け準備 ―― 9
ユニットバス用手すりUB-L，UB-L45の組立て ―― 11
壁パネルがタイルの場合 ―― 12
（1）取り付け前のご注意
（2）UB-400，UB-600の取り付け位置例
（3）UB-L，UB-L45の取り付け位置例
（4）取り付け手順
壁パネルが塩ビ鋼板複合，化粧鋼板，特殊化粧セメント板の場合 ―17
（1）取り付け前のご注意
（2）取り付け寸法
（3）アロンアルファ取扱説明書
（4）取り付け手順
取り外し手順 ―― 22
施工チェックリスト ―― 23

はじめに

この取扱説明書は、「ユニットバス用手すり」のご使用にあたり、その使用及び施工に関する基準を定めることにより、「ユニットバス用手すり」を安全にご使用していただくことを目的とするものです。

注　意

1．取り付け可能な壁パネルをご確認の上、『施工要領』に従って施工してください。
（6、7ページをご参照ください。）

2．取扱説明書に従った正しい使い方をしてください。
（4ページをご参照ください。）

3．市販品のコーキング剤を別途準備してください。
（15、20、21ページをご参照ください。）

●本品には、次の標準付属品が添付されておりますので確認してください。

（数量）

部品名＼サイズ	UB－400	UB－600	UB－L	UB－L45
目隠しキャップ	8	10	18	16
プラスチックアンカー	8	10	16	14
角座金	8	10	16	14
丸木ねじ	8	10	16	14
ナット	——	——	2	2
六角ボルト	——	——	2	2
歯付座金	——	——	2	2
アロンアルファ	1	1	2	2
L型レンチ	——	——	1	1
コーナーグリップ	——	——	1	1

ご使用の前に

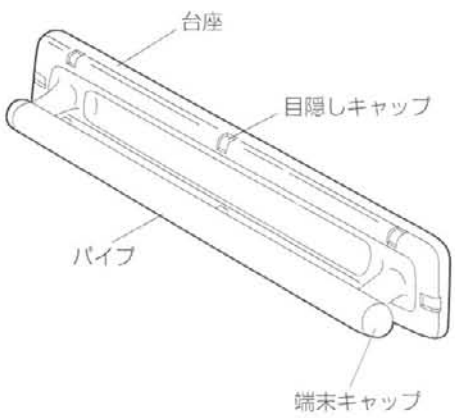
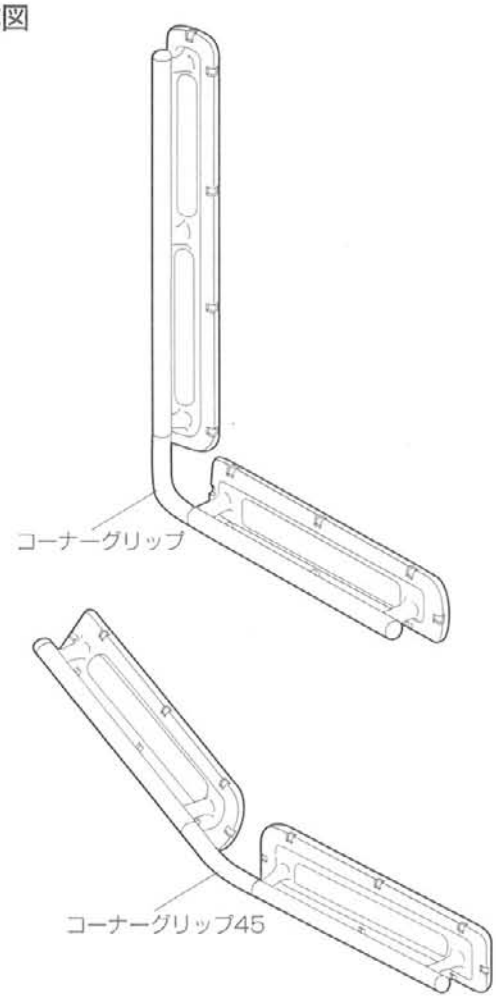
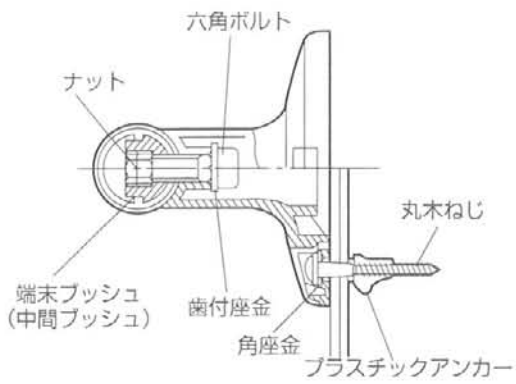
1．この手すりは、ユニットバスルーム内で立ったり、座ったり（浴槽及び洗い場）する時に移動補助として使用することを目的としており、上に乗ったりぶら下がったり、故意に衝撃を加えたりすると壁パネル及び製品が破損しケガをすることがあります。

2．換気乾燥機やサウナ機能の付いたユニットバスルームで、室温６０℃以上になりますと台座・パイプの変形や表面の変色が起きますので、この様な場所での使用は避けてください。

3．取り付けに関する注意事項は、『施工要領』の「取り付けの前に」をよく読んで、施工してください。

製品概要

（１）各部の名称

UB－４００・UB－６００	UB－L・UB－L４５
立体図  	立体図 
断面図  	

（2）主な特長

❶ ユニットバスルームに、後付けができます。

❷ 壁裏の補強工事なしで、容易に取り付けができます。

❸ 後付けなので、使用者の体型に合った位置に取り付けができます。

❹ コーナーグリップの接続により、L（90°，45°）対応もできます。

❺ 腕力の弱い人のために：L45°を採用しました。

❻ ソフトな感触で冷たくなく、すべりにくい材質と形状なので、お年よりの方にも安心です。

❼ 人間工学に基づいて設計された握り易い直径φ34mmです。

❽ パイプは防カビ剤入りなので、清潔です。

❾ 表面はプラスチック製仕上げなので、錆びません。

❿ 耐久性も良く、取り扱いも簡単です。

※湯気の中でも見やすい赤色のパイプもご用意いたしております。

（3）材質・仕様

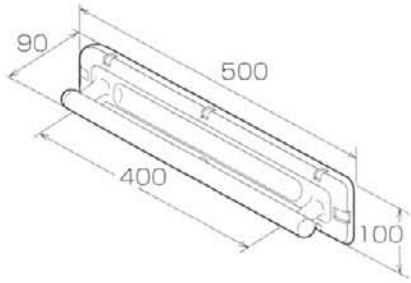
サイズ / 部品名	UB−400	UB−600	UB−L	UB−L45
パイプ	表面：軟質塩化ビニル樹脂（防カビ剤入り）・芯材：硬質塩化ビニル樹脂			
台座	ABS樹脂			
目隠しキャップ	ABS樹脂			
端末キャップ	ABS樹脂			
端末ブッシュ	ポリプロピレン			
中間ブッシュ	――	ポリプロピレン		――
コーナーグリップ	――		表面：エラストマー 芯材：ポリプロピレン	
六角ボルト・歯付座金	SUS304			
丸木ねじ・角座金	SUS304			
ナット	SUS304			
プラスチックアンカー	ポリエチレン			

（4）組立図

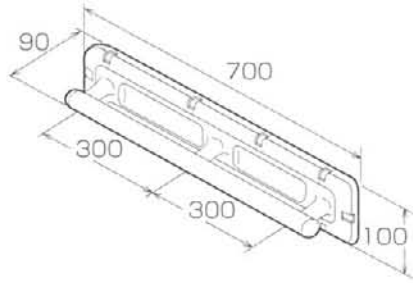
単位（mm）

UB－400・UB－600

製品番号
UB－400

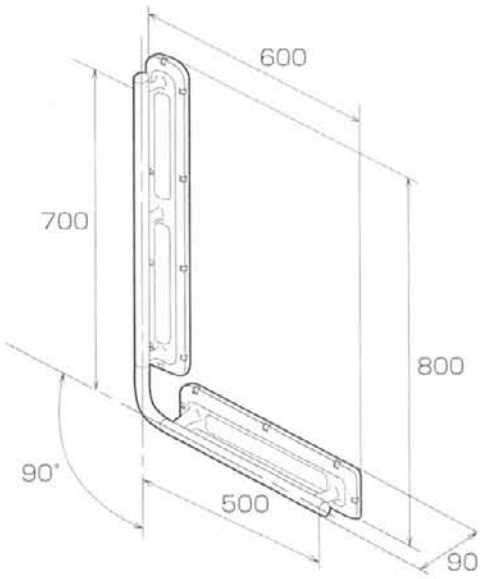


製品番号
UB－600

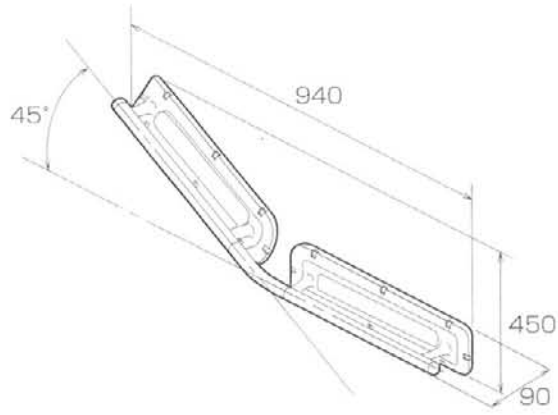


UB－L・UB－L45

製品番号
UB－L

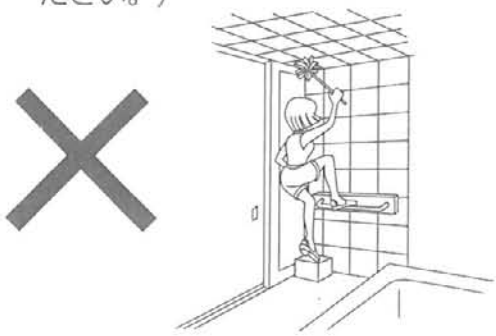


製品番号
UB－L45

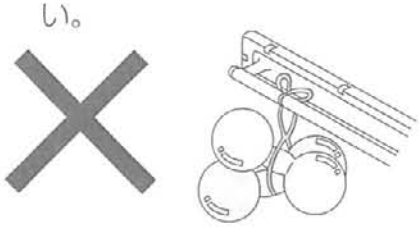


使用上のご注意

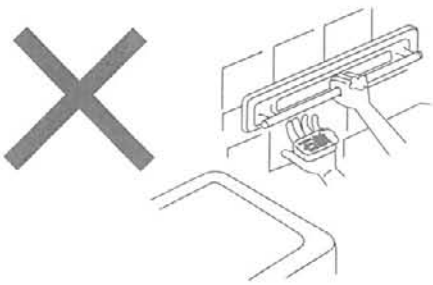
❶ 本品を手すり以外の用途に、使用しないでください。
（上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。）



❷ 重量物を手すりに掛けたりしないでください。



❸ 石けん等が付着した手でさわると、すべるおそれがあります。



❹ 取り付け後にガタツキがでた場合は、販売店または専門業者に連絡して、点検をうけてください。

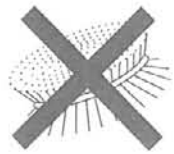
（上記の注意事項に従わない場合には、強度不足等を招き、ケガをすることがあります。）

お手入れの方法

❶ ふだんは柔らかい布でふいてください。

❷ 汚れがひどい時は、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をしみ込ませた布でふき、その後、水ぶきをしてください。

❸ みがき粉などを含んだ洗剤やナイロンたわしなどは、表面を傷つけるので使用しないでください。



❹ 酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。タイル等を酸性・アルカリ性洗剤で洗った場合は、すぐに本品も十分に水洗いしてください。

❺ 洗剤以外の薬品（消毒液・防錆剤など）は、変色・割れ等を発生する原因となりますので使用しないでください。誤って付着した場合には、すぐに本品も十分に水洗いしてください。

注：製品に貼りつけてある「警告シール」は、絶対にはがさないでください。貼付されていないもの、または紛失した場合は、お近くの支店・営業所までご連絡ください。

施　工　要　領

施工前に、「壁パネルの条件」「取り付けの前に」をよく読んでください。

壁パネルの条件

（1）取り付け可能な壁パネル

本品の取り付け可能な壁パネルは、下表のメーカーの壁パネルに限ります。なお、古い壁パネルや壁パネルの名称がわからない場合は、ユニットバス施工メーカーにご相談ください。

塩ビ鋼板複合
タイル（１００角，２００角，１００×２００）
化粧鋼板
特殊化粧セメント板

《メーカー別採用壁パネル一覧表》　（カタログより抜粋）

メーカー	壁パネル（商品名）
東陶機器	塩ビ鋼板複合 タイル（１００角，２００角，１００×２００）
松下電工	特殊化粧セメント板（ネオセライト，カラーネオセ） 化粧鋼板 タイル（１００角）
ＩＮＡＸ	タイル（１００角，２００角） 特殊化粧セメント板（ネオストーン） 化粧鋼板
積水化学工業	樹脂化粧鋼板 化粧繊維混入カルシウム板（セキスイオリジナル） セキスイアスベール
日立化成工業	塩ビ鋼板複合 特殊化粧セメント板（マベラス，クレスタイン） タイル（１００角，２００角） 特殊化粧鋼板複合
大同ほくさん	塩ビ鋼板複合 タイル（１００角，２００角） 特殊石綿セメント板合板複合板（ＦＫ板）
松下電器産業	塩ビ鋼板複合 タイル（１００角） 特殊化粧セメント板（パナセラム，セラズマ）
小松化成	塩ビ鋼板複合 タイル（１００角，２００角） 塩ビステンレス複合
ヤマハ	樹脂耐水化粧合板 タイル（１００角，２００角）
タカラスタンダード	化粧ステンレス

（2）取り付け不可能な壁パネル

以下の壁には、取り付けた際の壁強度がなく、所定の取り付けが出来ませんので絶対に取り付けないでください。

取り付け不可能な壁パネル	理　由
大判タイル	目地取り付けが出来ない
ＦＲＰ	壁裏リブによりアンカー固定困難
天然大理石	壁パネル強度不足
天然木	壁パネル強度不足
ホーロー	壁パネル強度不足

および

前ページ記載のメーカー以外の壁パネル

《メーカー別採用壁パネル一覧表》　（カタログより抜粋）

メーカー	壁パネル　（商品名）
松下電工	天然木
積水化学工業	天然大理石（３００角，１５０×３００） タイル（３００×４００）
日立化成工業	ＦＲＰ タイル（２００×２５０）
大同ほくさん	ＦＲＰ（グラバーン，グラニット，グラストーン）
松下電器産業	ＦＲＰ
ヤマハ	ＦＲＰ（セラミックウォール，グラニット） 天然木（ナチュラルウッド）
タカラスタンダード	ホーロー

取り付けの前に

❶ **直射日光の当たる場所へは取り付けないでください。**
理由：屋内用ですので、紫外線が長時間当たると強度劣化を起こす原因となります。

❷ **室温６０℃以上になるユニットバスルーム（換気乾燥機・サウナ機能付）へは、取り付けないでください。**
理由：塩化ビニル樹脂の耐熱温度は約６０℃であり、室温が６０℃をこえると変形が大きくなったり、表面の変色が起きたりします。

❸ **常時水に浸かる（水没）場所へは、取り付けないでください。**
理由：取り付け部（下穴）から壁裏に水が浸透していき、アンカー固定部の取り付け強度が低下します。

❹ **添付の丸木ねじ及びプラスチックアンカー、角座金は指定数量を使用してください。**
理由：指定数量より少ない場合は、所定の取り付け強度が得られず、ガタつきが生じたり落下するおそれがあります。

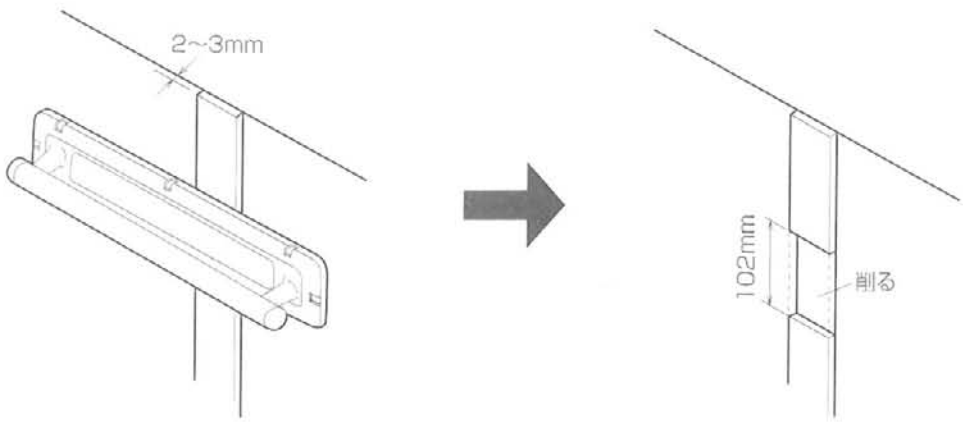
指定数量

製品番号	数　量
UB－４００	8
UB－６００	１０
UB－L	１６
UB－L４５	１４

❺ **添付のアロンアルファは、手すり専用品ですので使いきりとしてください。**

❻ 添付のアロンアルファが、固まったり白濁している場合は、十分な強度が得られないおそれがありますので、代替品として市販品のボンドアロンアルファ（木工用）２ｇをお買い求めください。

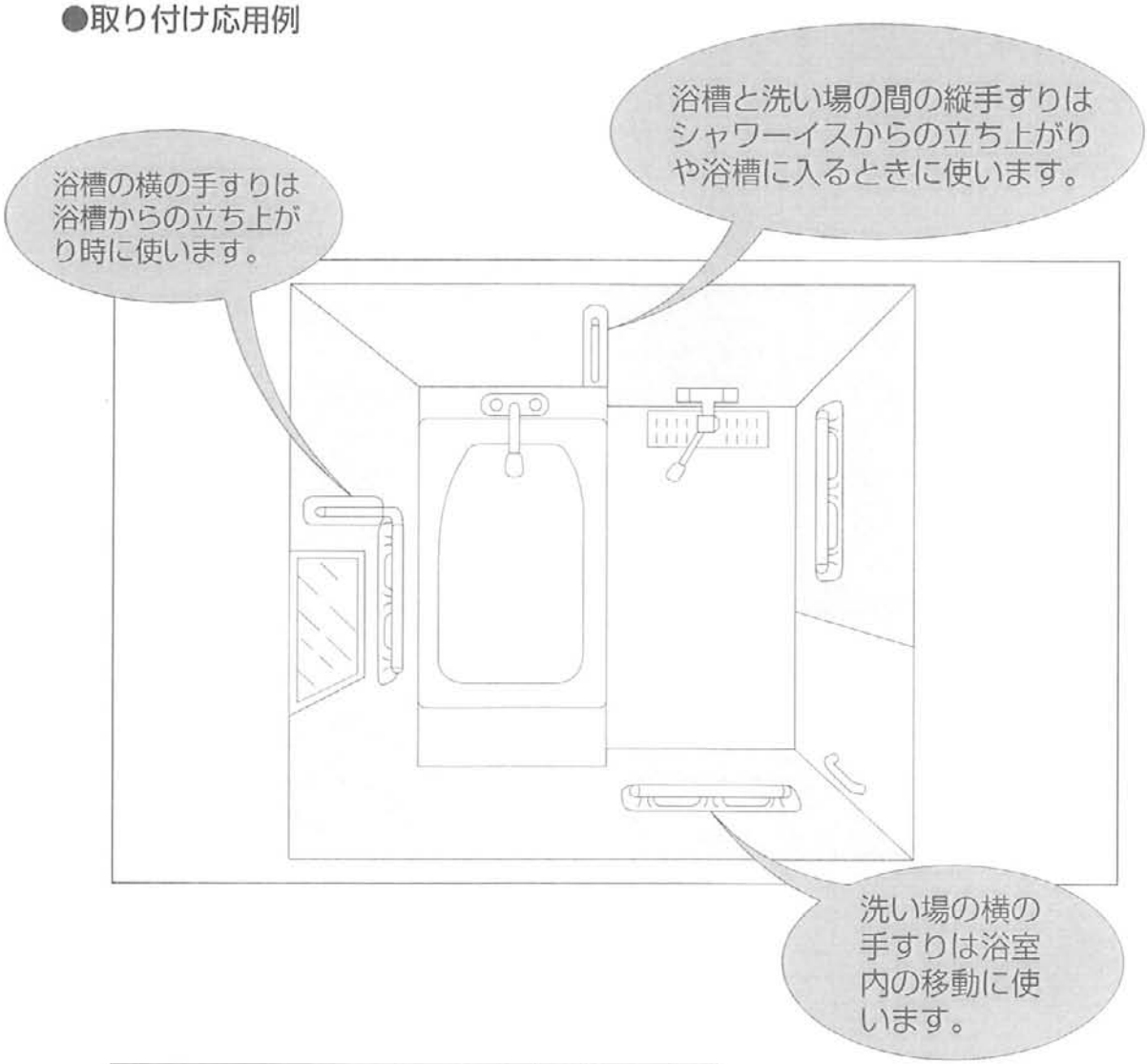
❼ 壁パネルのつなぎ目に２～３mmの凸部があり、台座取り付け位置の下側になる時は、壁パネル面まで削りこんで台座取り付け面を平面にしてください。



取り付け準備

梱包を開いて「標準付属品」の破損・欠損がないか確認します。

●取り付け応用例

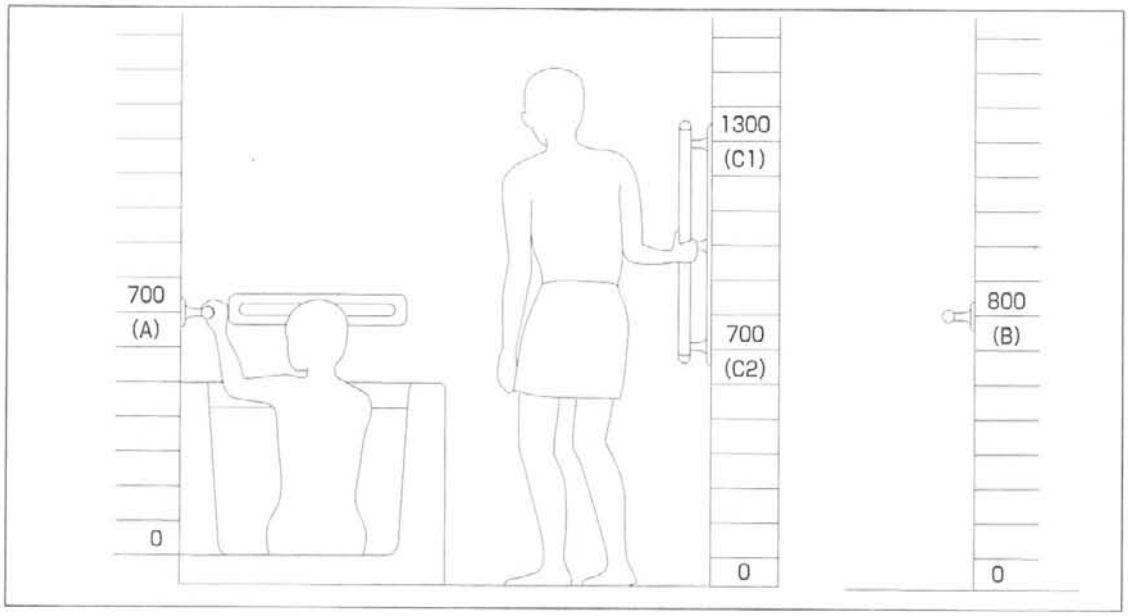


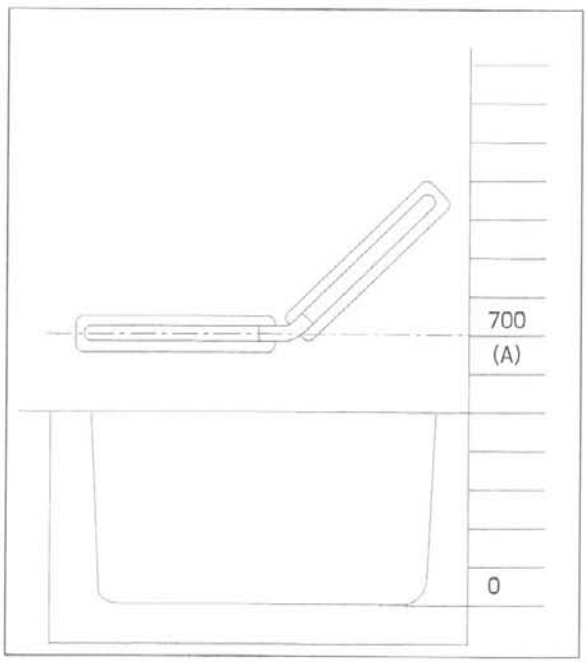
●取り付け高さの目安

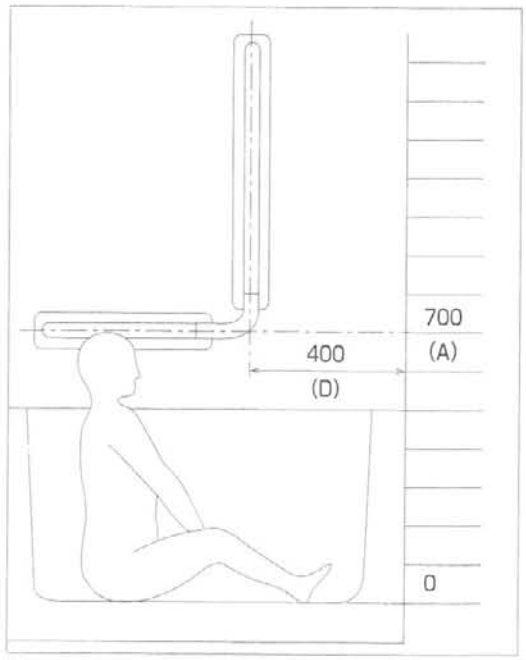
例：身長１６０ｃｍの場合には

（横方向）７００mm（A）… 浴槽壁面
８００mm（B）… 洗い場側
（縦方向）１３００mm（C１），７００mm（C２）
（L型縦位置）４００mm（D）

※パイプの中心を基準にしています。

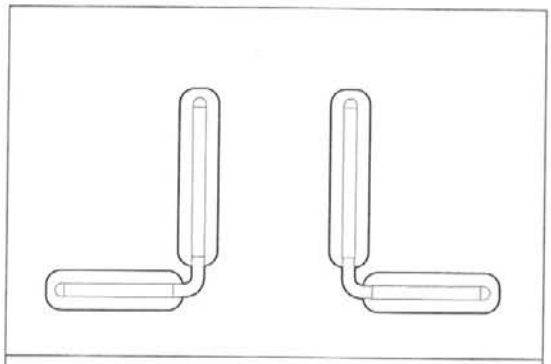




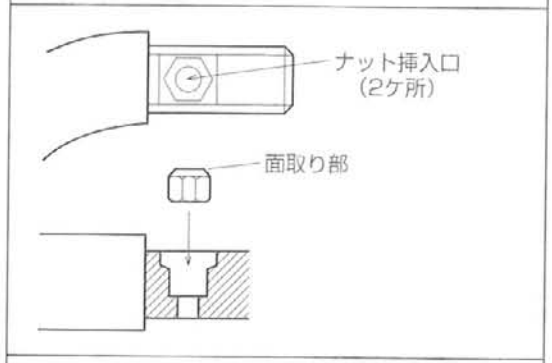


ユニットバス用手すりUB－L・UB－４５の組立て

❶ 取り付け方向（形状）を決めます。

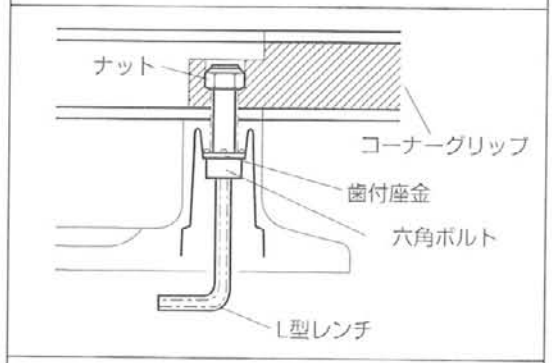


❷ コーナーグリップ（４５，９０）のナット挿入口に面取り部が上側になるようにナットを挿入してください。（２ケ所）



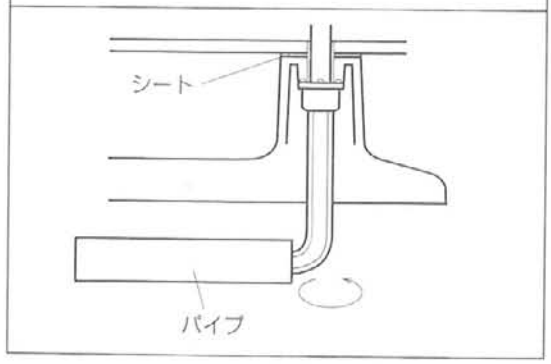
❸ 歯付座金を六角ボルトに通し、台座裏側よりパイプを介してナットに六角ボルトをＬ型レンチで締め付けます。

注：手すりパイプを動かして、がたつきがないことを確認してください。



❹ 増し締めは、Ｌ型レンチを細いパイプまたはペンチにて半回転を目安に回してください。

注：トルクレンチを使用する場合には、締め付けトルク50kg-cmで締め付けてください。50kg-cmより大きいトルクで締め付けますと、台座が破損する恐れがあります。



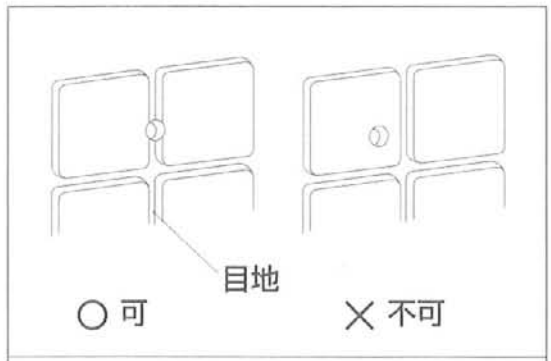
※台座のパイプ受け面に貼ってあるシートは、絶対にはがさないでください。

壁パネルがタイルの場合

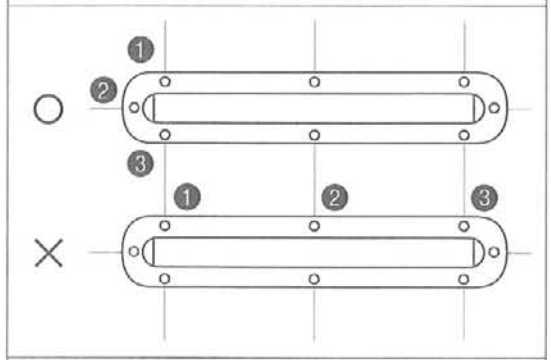
（1）取り付け前のご注意

❶ 添付のアロンアルファは使用しないでください。下穴径 φ6 mmなので、アロンアルファを使用すると下穴径が小さくなり、むりやりプラスチックアンカーを挿入すると変形を起こし、まっすぐに入りません。

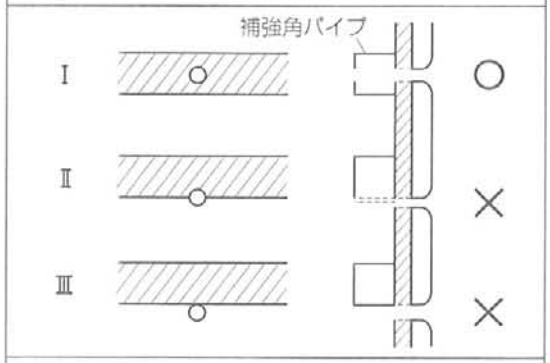
❷ 下穴は、必ず目地を中心として開けてください。タイル上を中心としてアンカー固定した場合は使用中にタイルにヒビ割れを生じることがあります。
（例外：UB－L・UB－L４５の一部）



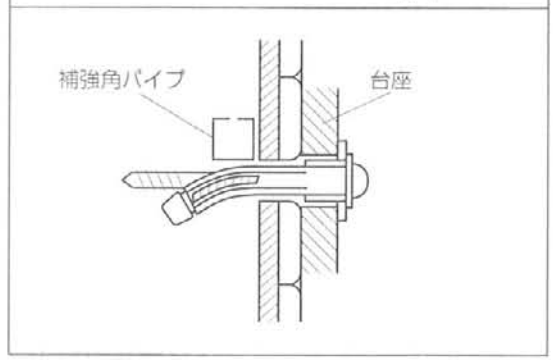
❸ 下穴を開ける順番は、右図の番号順に開けてください。これは、壁パネル裏側の補強角パイプ（右下図参照）の位置を確認するためです。



❹ 右図Ⅰ以外で、補強角パイプが見える場合は、横または上下方向に目地ピッチ分だけ移動させて、取り付けてください。



注：図Ⅱ，Ⅲの場合は、プラスチックアンカーのスリットから丸木ねじがはずれて所定の締め付け強度が得られません。

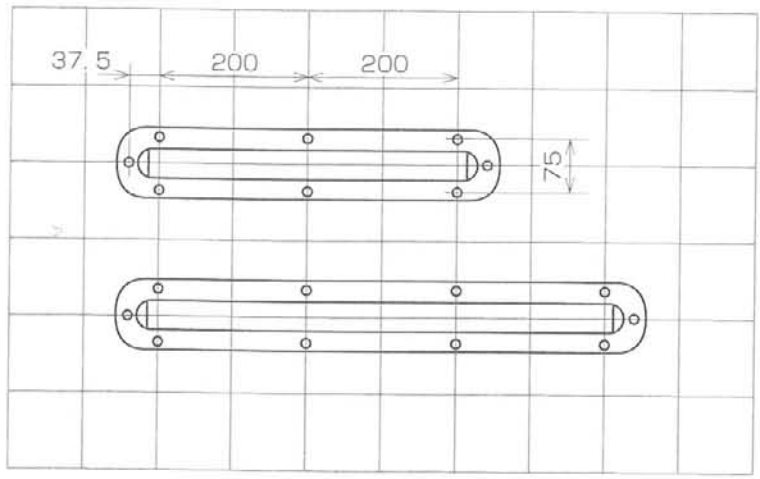


（2）UB－４００・UB－６００の取り付け位置例

《１００角タイル》

UB－４００

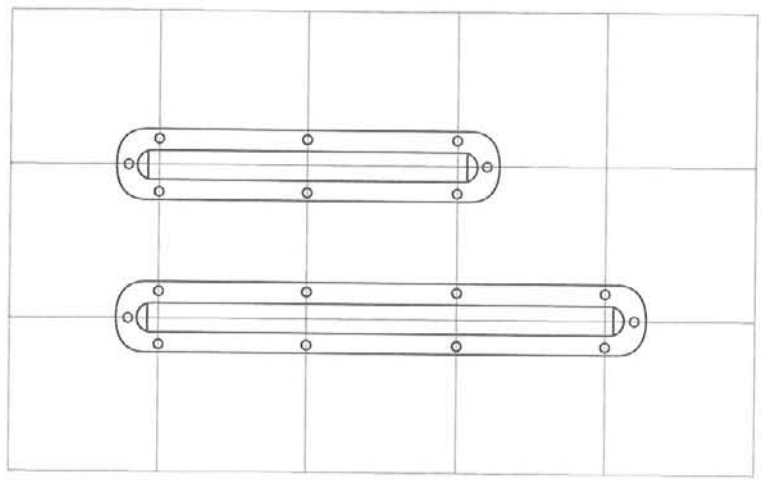
UB－６００



《２００角タイル》

UB－４００

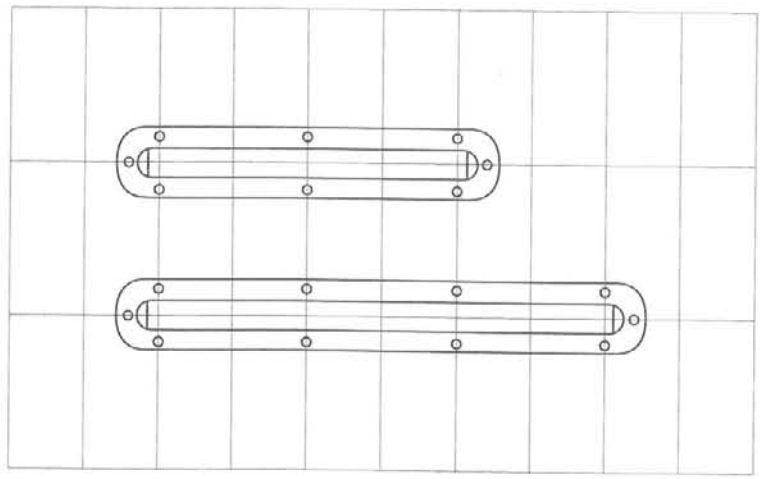
UB－６００



《１００×２００タイル》

UB－４００

UB－６００

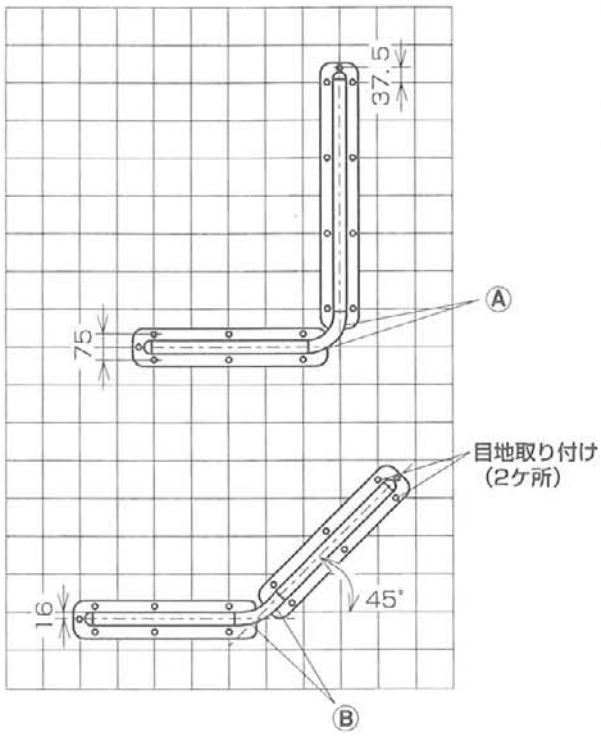


注：タイルパネルにはUB－４００，UB－６００のみの斜め取り付けはしないでください。

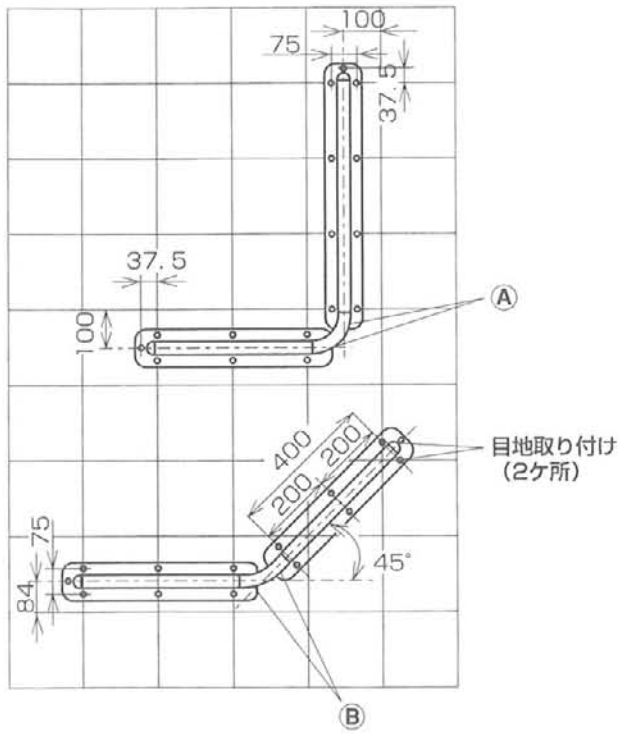
（3）UB－L，UB－L４５の取り付け位置例

注：下穴を開ける位置は、下図位置を必ず守ってください。その他の場所に固定した場合は、手すり使用中タイルにヒビ割れを生じることがあります。
なお、コーナーグリップ下側2ヶ所（下図Ⓐ・Ⓑ）の下穴は不要です。

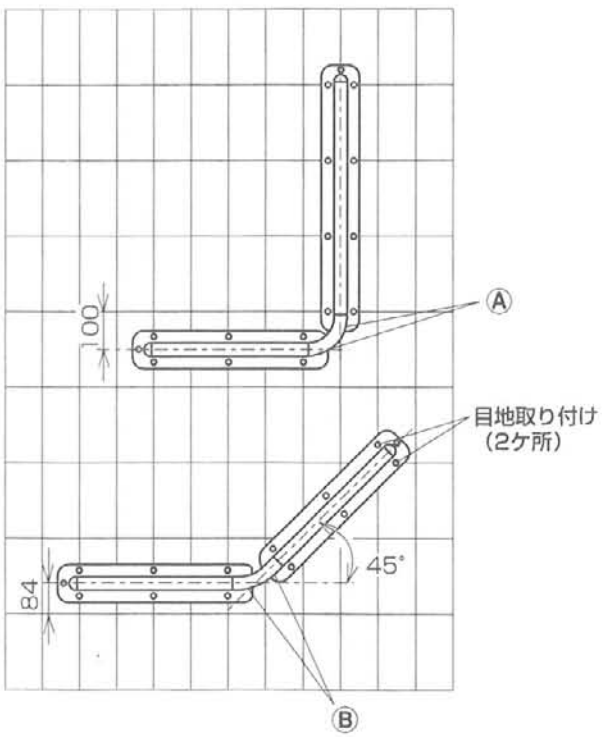
《１００角タイル》



《２００角タイル》



《１００×２００タイル》



（4）取り付け手順

❶ 取り付け予定場所を決めたら、「取り付け位置例」図の寸法で下穴（タイル用ドリル φ6 mm）を開けます。

注：ドリルは磁器タイル用を使用してください。他の用途ドリルでは、タイルが欠けたり、割れることがあります。

注：L，L４５の場合は、コーナーグリップ部下側２ヶ所の下穴は不要です。(14ページを参照)

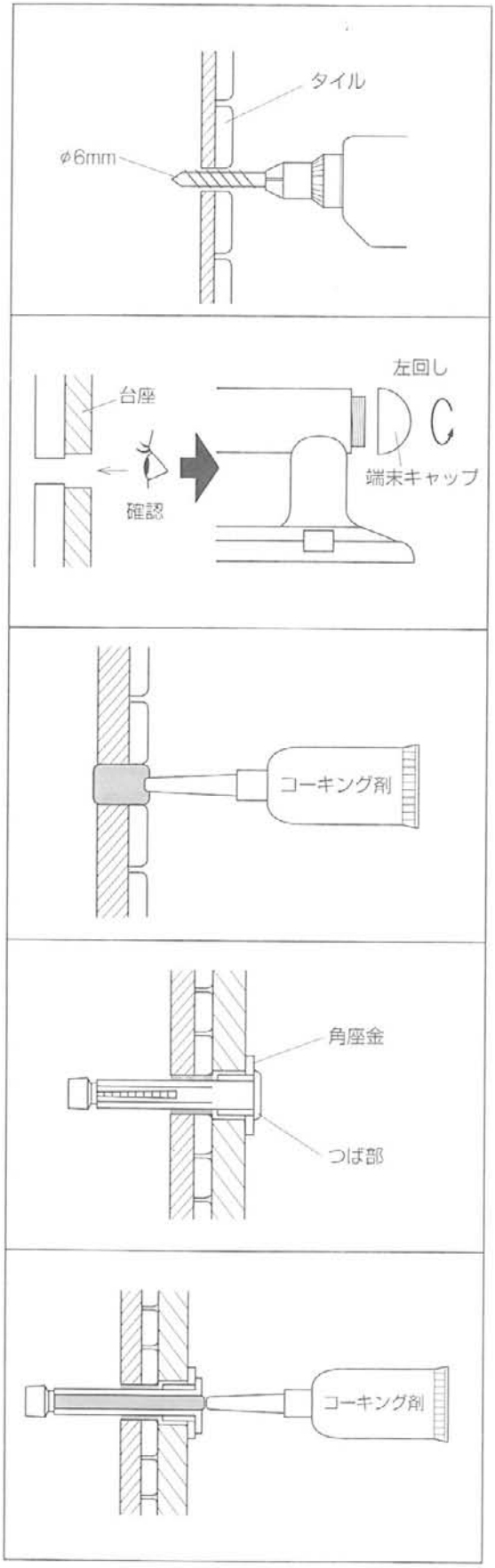
❷ 台座を壁パネルに当て、台座取り付け穴と下穴の位置が合っているか確認し、次ページ⑥の施工でじゃまにならないよう両端の端末キャップを左へ回し外します。

❸ 全下穴に止水対応のためのコーキング剤を下穴が完全に隠れるまで注入します。

注：コーキング剤はシリコーン系で防カビ剤入りの市販品をご使用ください。
推奨品…バスボンド（コニシ㈱）
バスコーク（セメダイン㈱）

❹ 台座取り付け穴と下穴の位置を合わせ、角座金を通したプラスチックアンカーをつばの当たる位置まで差し込みます。
（コーキング剤注入後すぐに、プラスチックアンカーを差し込んでください。固まってくるとコーキング剤が壁裏に押し出され、シール効果がなくなります。）

❺ プラスチックアンカーの丸木ねじ締め付け穴にコーキング剤を注入します。

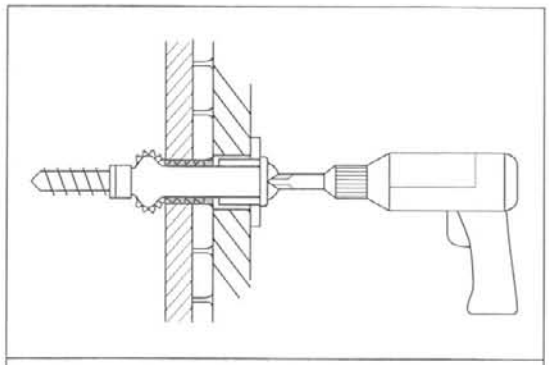


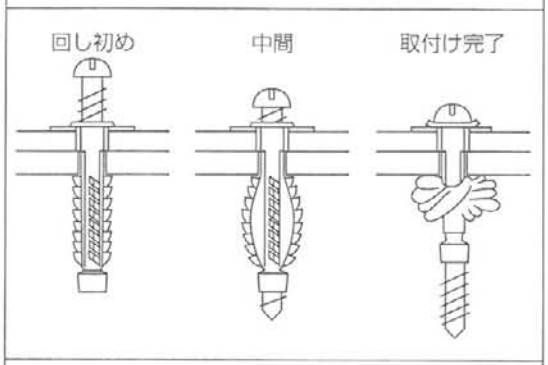
❻ 指定数量の丸木ねじをプラスチックアンカーに締め付けます。締め付け完了は、プラスチックアンカーのつば部がつぶれることで確認できます。

注：電動ドライバーで締め付けを行なう場合は、締め付け開始時間から約１０秒後に必ず回転を停止してください。

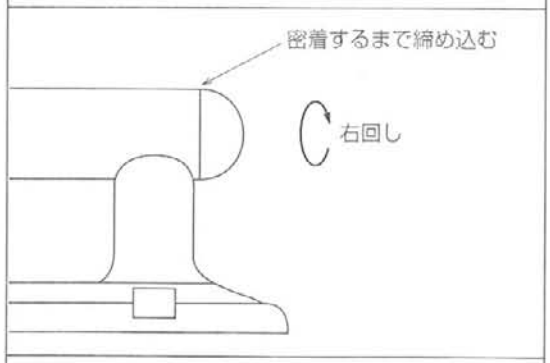
注：手で締め付ける場合は、初めは堅く一旦ゆるくなって再びやや堅くなるまで締め付けてください。

注：必要以上に回すと、プラスチックアンカーのねじ部外周が大きくなり、所定の取り付け強度が得られません。

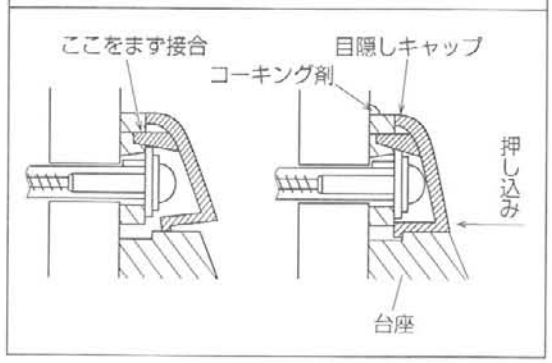




❼ 端末キャップを締め込みます。（両端）



❽ 目隠しキャップを装着します。
台座の周囲に沿って（台座と壁パネルとの隙間）コーキング剤を塗ってください。



❾ ２３ページの施工チェックリストにより確認してください。

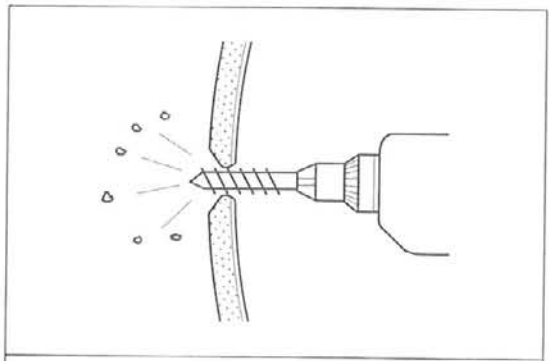
壁パネルが塩ビ鋼板複合，化粧鋼板，特殊化粧セメント板の場合

（1）取り付け前のご注意

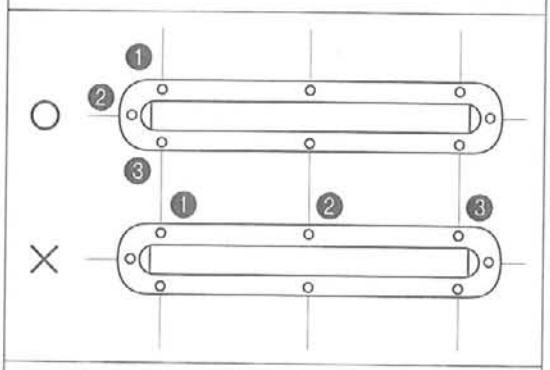
❶ 壁裏が石膏ボードの場合は、添付のアロンアルファを必ず使用してください。
アロンアルファにて下穴（石膏ボード）の補強をしないと、所定の締め付け強度が得られません。

❷ 下穴を開ける際は、ドリル先を強く壁パネルに押しつけないでください。強く押しつけると、下穴がすりばち状になりアンカー固定ができなくなります。

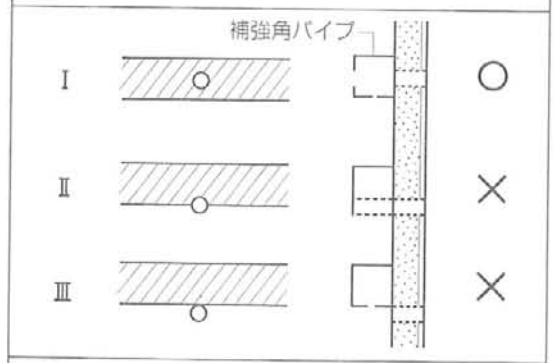
注：電気ドリルは回転数１０００rpm以上で使用してください。低速回転では下穴が崩れて所定の締め付け強度が得られません。



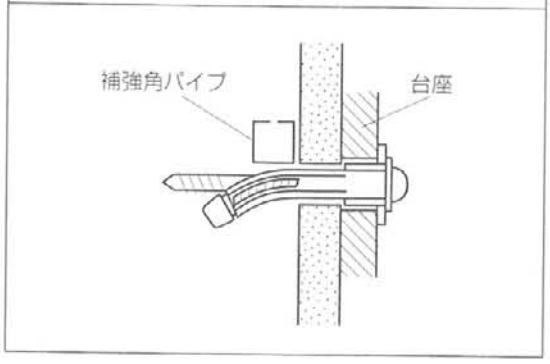
❸ 下穴を開ける順番は、右図の番号順に開けてください。これは、壁パネル裏側の補強角パイプ（下図参照）の位置を確認するためです。



❹ 右図Ⅰ以外で、補強角パイプが見える場合は、横または上下方向に最低３０mm以上移動させて取り付けてください。

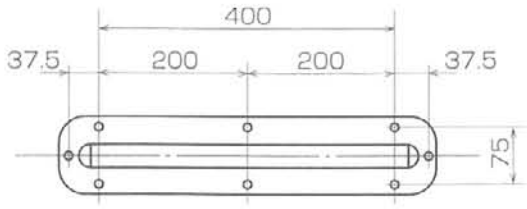


注：図Ⅱ，Ⅲの場合は、プラスチックアンカーのスリットから丸木ねじがはずれて所定の締め付け強度が得られません。

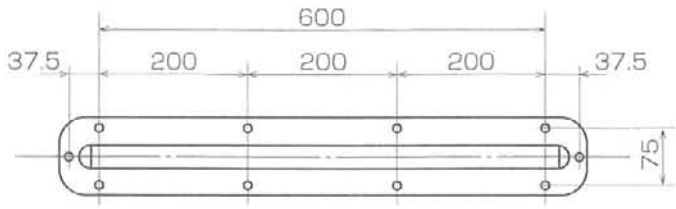


（2）取り付け寸法

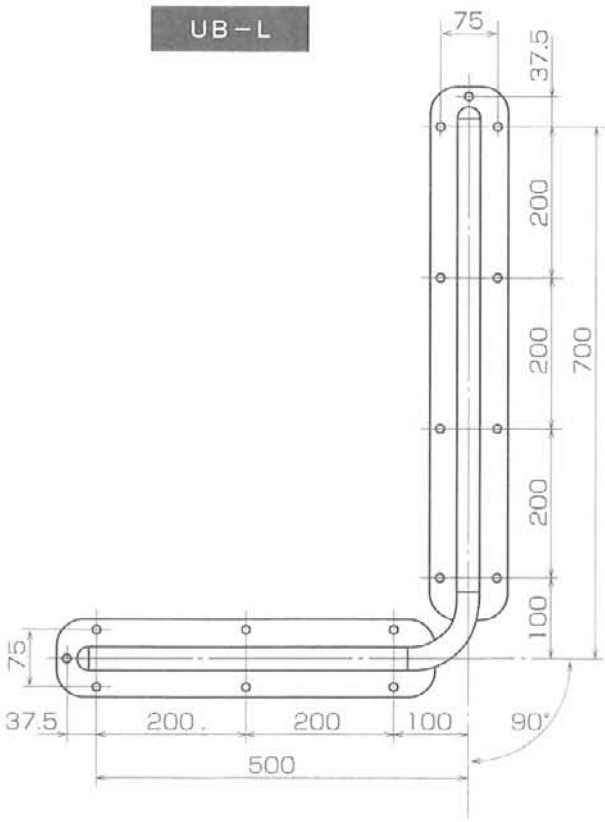
UB－400



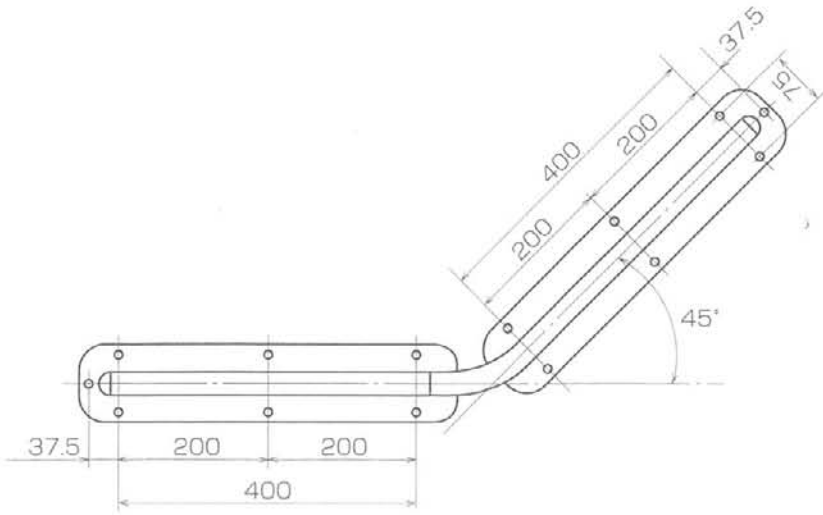
UB－600



UB－L



UB－L45



（3）アロンアルファ取扱説明書

❶ アロンアルファはヒフなども瞬間的に強力に接着しますので、ヒフにつけないように注意してください。誤って指などを接着したときには無理にはがさず、ぬるま湯でもみほぐすか、アロンアルファ専用はがし液で少しずつもみ離してください。

❷ アロンアルファをお使いになる時は、眼に入らないように保護メガネなどを着用してください。万一、アロンアルファが眼に入ったときは、すぐに大量の水で洗眼して、医師の手当てを受けてください。（溶剤を用いたり、眼をこすったりしないでください。）

❸ 接着力は非常に強力ですから、幼児や児童の取り扱いは危険です。手の届かないところに保管してください。

❹ アロンアルファは液状のとき、多少刺激臭が感じられます。長時間お使いになるときは換気にご注意ください。

❺ アロンアルファは、織布やウレタンフォームのような材料に多量に吸い込まれた場合、急速に固化、発熱することがあります。作業者が、軍手にアロンアルファをこぼしたため火傷した例もありますので、保護手袋にはポリエチレン製のものをお使いください。

❻ アロンアルファは消防法の危険物第4類第3石油類（危険等級（Ⅲ））に該当する引火性物質です。火気のある場所では使用しないでください。

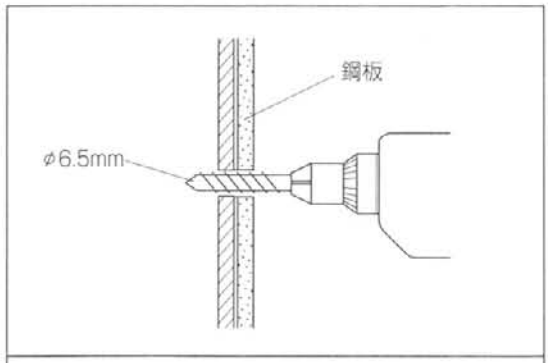
❼ アロンアルファを廃棄するときは、容器の液がこぼれないように蓋をして産業廃棄物（燃えないごみ）として処理してください。

（4）取り付け手順

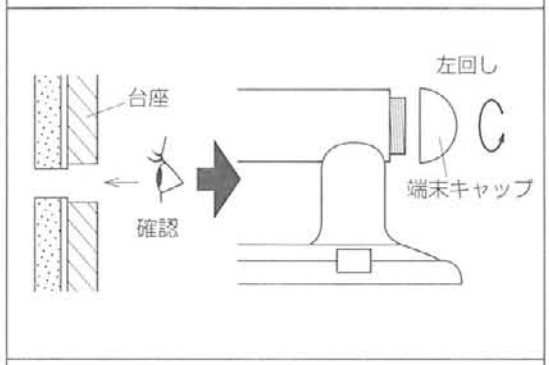
❶ 取り付け予定場所を決めたら、「取り付け寸法」に従って下穴（鉄工用ドリル φ6.5mm）を開けます。

注：穴開け後、鋼板のカエリ部をカッターナイフで取り除いてください。取り付け後ガタつきが生じることがあります。

注：L，L45の場合は、コーナーグリップ部下側2ヶ所の下穴は不要です。(14ページを参照)

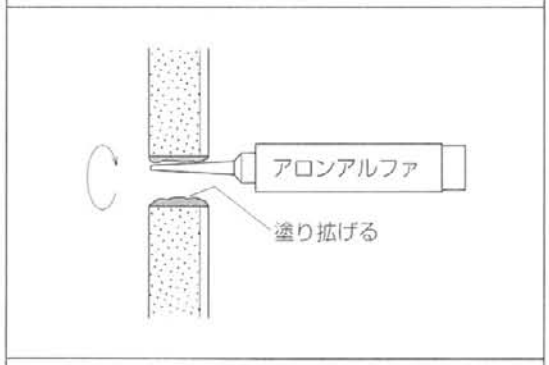


❷ 台座を壁パネルに当て、台座取り付け穴と下穴の位置が合っているか確認し、次ページ⑦の施工でじゃまにならないよう両端の端末キャップを左へ回し外します。



❸ 下穴に添付のアロンアルファを3滴程度垂らして、容器先のノズル部で下穴壁部分に均一に塗り拡げます。

注：アロンアルファ取扱説明書（19ページ）をよく読んでお使いください。

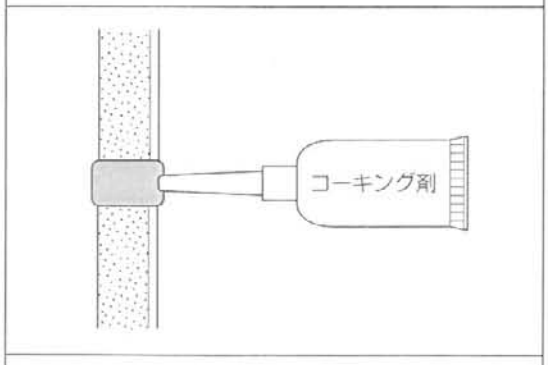


❹ アロンアルファが乾いたら（約5分経過後）、全下穴に止水対応のためのコーキング剤を下穴が完全に隠れるまで注入します。

注：コーキング剤はシリコーン系で防カビ剤入りの市販品をご使用ください。

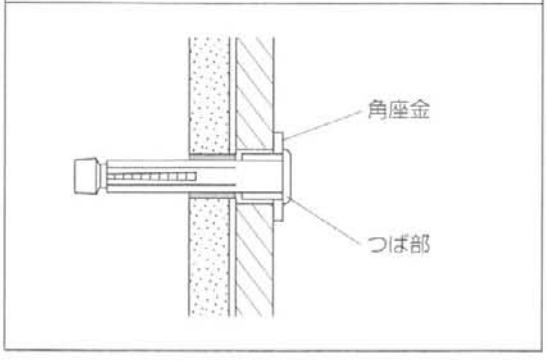
推奨品…バスボンド（コニシ㈱）

バスコーク（セメダイン㈱）

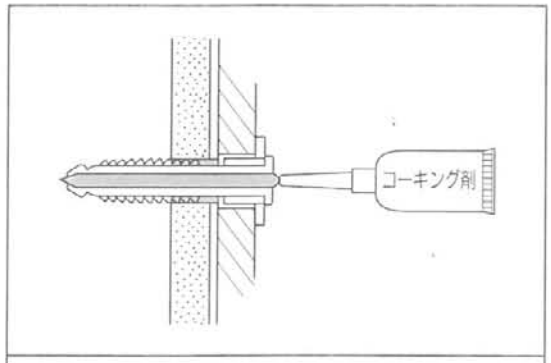


❺ 台座取り付け穴と下穴の位置を合わせ、角座金を通したプラスチックアンカーをつばの当たる位置まで差し込みます。

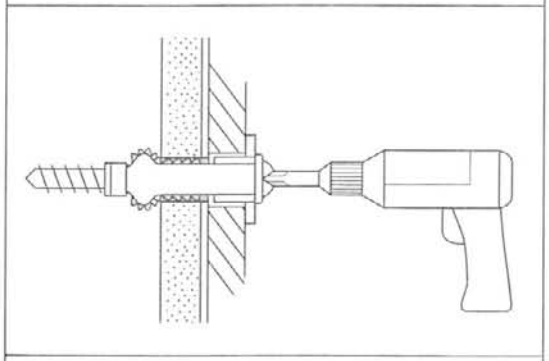
（コーキング剤注入後すぐに、プラスチックアンカーを差し込んでください。固まってくるとコーキング剤が壁裏に押し出され、シール効果がなくなります。）



❻ プラスチックアンカーの丸木ねじ締め付け穴にコーキング剤を注入します。

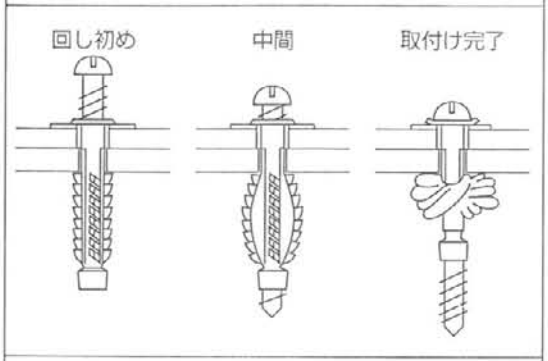


❼ 指定数量の丸木ねじをプラスチックアンカーに締め付けます。締め付け完了は、プラスチックアンカーのつば部がつぶれることで確認できます。



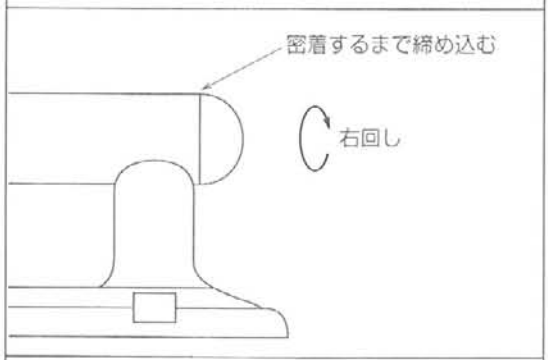
注：電動ドライバーで締め付けを行なう場合は、締め付け開始時間から約１０秒後に必ず回転を停止してください。

注：手で締め付ける場合は、初めは堅く一旦ゆるくなって再びやや堅くなるまで締め付けてください。

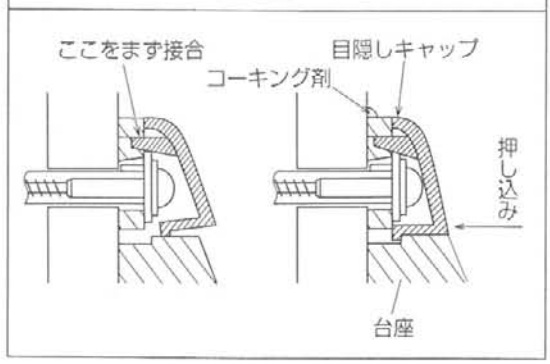


注：必要以上に回すと、プラスチックアンカーのねじ部外周が大きくなり、所定の取り付け強度が得られません。

❽ 端末キャップを締め込みます。（両端）



❾ 目隠しキャップを装着します。
台座の周囲に沿って（台座と壁パネルとの隙間）コーキング剤を塗ってください。



❿ ２３ページの施工チェックリストにより確認してください。

取り外し手順

次の場合は、下記の手順に従ってアンカーの取り外し作業を行なってください。

- 角座金を入れ忘れた
- ガタつきが生じてきたので、取り付け位置を変更
- タイル壁に穴開け中、誤ってヒビ割れが生じてしまい、取り付け位置を変更

❶ 目隠しキャップを外します。

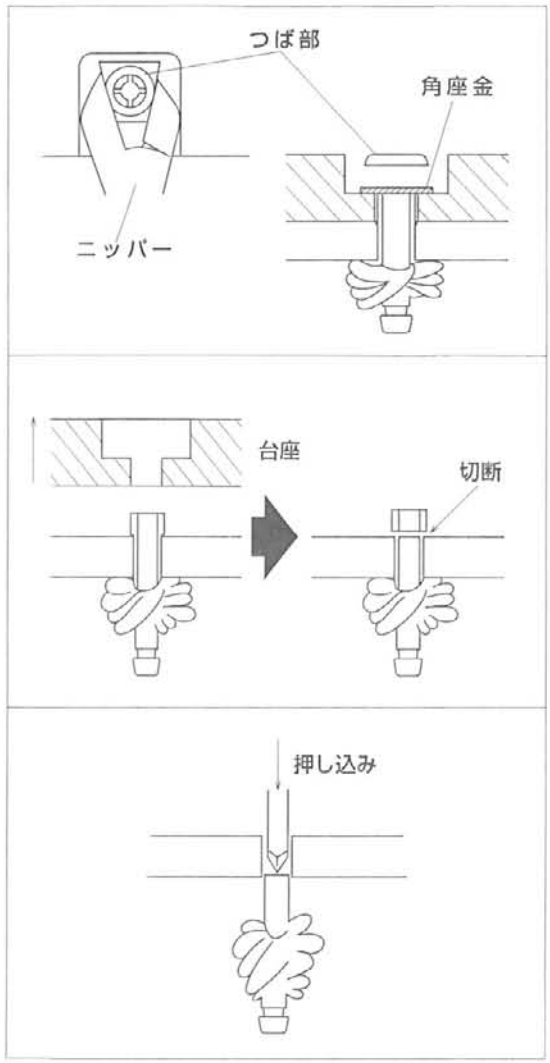
❷ 丸木ねじを外します。

注：電動ドライバーで左回転させても、丸木ねじが出てこない場合は、手で⊕ドライバーを使用して外してください。丸木ねじが、プラスチックアンカーのスリットからはずれて、取り付けられていることが考えられます。

❸ ニッパーでプラスチックアンカーのつば部を切断します。

❹ 台座を壁から引き離し、プラスチックアンカーの回り止め用リブの下側をニッパーで切断します。

❺ ⊕ドライバー等でプラスチックアンカーを壁側へ押し込みます。



❻下穴は、水まわりの穴埋め専用のエポキシ粘土等で補修します。

※プラスチックアンカーが不足した場合は、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

施工チェックリスト

施工終了後、下記項目の確認を必ず行なってください。

✓ 確認

	項　目	解説ページ
工程チェック		
	丸木ねじ，角座金，プラスチックアンカーは、付属品全てを使いましたか	
	下穴は，アロンアルファで補強しましたか（下地が石膏ボードの場合）	20
	下穴は、コーキング剤で防水処理を施しましたか	15，20，21
	角座金は、正しい位置にセットしましたか	15，20
	鋼板のかえり部は、カッターで取り除きましたか	20
	UB－L，UB－L45の取り付け方向は正しいか	10，14
取り付けチェック（実使用を想定して、パイプに荷重を加えてください。）		
	台座と壁パネルの間に、ガタつきはないか	
	パイプと台座のパイプ受部との間に、ガタつきはないか	
	端末キャップとパイプ端部の間に、隙間はないか	16，21
	コーナーグリップ（90，45）とパイプとの間に、ガタつきはないか	11
	壁パネルに損傷はないか（特に、タイルの割れ）	

処置欄